



様式第8号 (第5条関係)

(その1)

平成31年 4月 22日

十和田市議会議長

竹島勝昭様

会派名 市民連合クラブ  
経理責任者 工藤正廣

平成30年度(1月~3月)政務活動費収支報告について

十和田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、  
別紙のとおり平成30年度(1月~3月)政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

平成 30 年度 (1月~3月) 政務活動費収支報告書

会派名 市民連合クラブ

1 収 入

政務活動費 990,000円

2 支 出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	785,560	2/10~2/12 NPO 法人小田原まちづくり応援団、須賀川市 (行政視察)
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費	3,930	コピー料、事務用封筒購入
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	789,490	

3 残 額 200,510円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

<平成30年度>  
<1月～3月分>

政 務 活 動 費 使 用 状 況

市民連合クラブ

会 派 名	金 額	備 考
収入	990,000	30,000円×11人×3カ月
議 員 数	11	
支出		
調 査 研 究 費	785,560	2/10～2/12 NPO法人小田原まちづくり応援団、 須賀川市（行政視察） 775,560 NPO法人小田原まちづくり応援団 研修費 10,000
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	3,930	・コピー料 (2,400円) ・事務用封筒購入 (1,530円) 3,930
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	789,490	
残額	200,510	

# 調 查 研 究 費





90 ha の及の 公館施設 不惑子 北野集会所 文化財資料館の  
全概、これ道路は市道 5 路線 林道 1 路線 橋梁流  
出 37 所 2 市、2 町、3

これら復興事業は 別掲 3.11 東日本震災 復興事業に  
おける被災状況と防災対策に 2.6.7 を添付する

被災市庁舎建設に 2.7.1 及び 2.7.2 に記す。市庁舎では  
耐震強化工事 一時避難場所 及び 防災機能の充実を図り、特に  
主要構造部 非常用発電機設置 太陽光発電設置 2.7.1-  
1.1.1.1 及び 2.7.1.2 防災倉庫 防災広場等 2.7.2  
に記す。

更に市庁舎以外の国庫木造復興交付金計 被災市庁舎  
の支出総額 7 事業費、127 億 64 万 9000 円 内国庫負担計  
99 億 64 万 9000 円、これ 別掲の 新築地復興緊急復旧事業  
費 8 億 14 万 9000 円、内国庫 6 億 44 万 9000 円、2.7.2.1  
を参照。

今後の総合防災情報体制に 2.7.3 に記す。今後の大震災への対応に  
対応する体制 及び 人権保護等 2.7.4 及び 2.7.5 災害情報  
システム 2.7.6 防災情報収集 災害情報発信体制 2.7.7  
災害情報伝達体制 2.7.8 に記す。

本市におきける 新庁舎建設に 2.7.1 市庁舎内部の防災会議室  
及び 人権保護等 2.7.4 及び 2.7.5 危機管理室 2.7.6 自然災害  
対策等 2.7.7 防災情報収集 2.7.8 防災情報発信体制 2.7.9  
防災情報伝達体制 2.7.10 防災行政

## 行政視察報告書

平成31年2月28日

テーマ「小田原まちづくり応援団」「まちえん」

期日 平成31年2月11日（月）AM10:00～

場所 神奈川県小田原市

「まちづくり」は全国自治体の課題である。安全、安心で夢のある、住みよい「まち」を創造することに懸命であり、どのように進めるか、悩みである。

今回、小田原市のとり組の「まち」興しの事業でNPO法人小田原まちづくり応援団が主催する事業を視察した。国登録有形文化財（旧黒田長成侯爵邸）を利用し、海の見えるカフェを運営し、その他にも季節イベントツアーや周辺ガイドツアー等、各種イベントを開催実施し、成功している。

基々、この場所は、伊藤博文、山縣有朋、益田孝（三井物産創業者）北原白秋、そして黒田長成（福田城主、黒田長政子孫）等、かつての名士がつくった歴史の深い場所である。このような地を利用することにより、観光客を誘致し、成功している。

特に運営は常に「市」と意見調整して、NPO法人としては上位で成功事例であると思う。我が市のNPO法人も見習うべきと思う。

工藤正廣



## 行政視察報告書

平成31年2月28日

テーマ「内陸地の災害対策」

期日 平成31年2月12日(火) AM9:30～

場所 福島県須賀川市

世界規模で大災害の対応に苦慮している。今、どのような対策を講ずるか、莫大な費用とエネルギーが必要で、頭の痛いところである。

身近に東日本大震災が記憶に新しいところである。今回の須賀川市は福島県の内陸部にあり、十和田市と似ており、その災害の経験を学ぶ為、視察をした。

原子力放射能は別にして、我が市は、地震、台風と特に十和田湖火山の爆発に  
対策を講じなければならない。須賀川市の経験から学んだことは、常に訓練、市民にその大変さを認識させることが肝要。そして「助け合う」心の熟成。他人事  
ではないことを認識してもらうことが大事である。また、行政は常に正しい情報を提供することが肝要であり、行政も市民と一体となることが大事と学んだ。

工藤正廣

資料作成費

(その3)

# 政 務 活 動 報 告 書

会派名	市民連合クラブ		
活 動 議 員 名 (取扱議員名)			
区 分			合計金額
1 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費
5 要請・陳情活動	6 会 議 費	⑦ 資料作成費	8 資料購入費
9 人 件 費	10 事務所費	※該当する区分に○印	
期 間 (年月日)	平成31年1月1日 ～ 平成31年3月31日		
支出目的 (支出理由)	・会派所属議員に送付するための議会関係諸資料等作成費		
内容及び成果			
	コピー料	2,400円	
	事務用封筒購入	1,530円	

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。